

就農しショウガシロップで起業



【山梨】南アルプス市で 市の地域おこし協力隊員と
ショウガとそのドリンクシロップを生産している株式会社
OIL代表の手塚美砂子さんは、ブドウ栽培と農産物の6次化を中心に2
年半研修を行った。

南アルプス市・手塚さん 東京から協力隊でUターン

ワインについて研修し知識を深めるものの、「お酒が飲めない」ため、ワイン生産を諦めたという。その後自身が一番好きなジンジャーエールを作ろうとショウガの栽培を始め、お酒にも負けないノンアルコールドリンク用のシロップを開発。21年にドリンクメーカー「SOIL」を設立した。モモやユズなどで風味付けした4種のシロップは、炭酸で割るとショウガ独特の辛みを味わうことができる。昨年は約4千本出荷し、すべてが売り切れになるほど人気だという。

手塚さんは「地域おこし協力隊員時代にしてもらったように、新規就農者とベテラン農業者をつなぐ活動もしていきたい」と語る。

商品に関する情報は、ホームページ (soil-drink.com) 参照。

首都圏

NATIONAL
AGRICULTURAL
NEWS

新聞

全国農業

2023年(令和5年)

4月21日

金曜日
月4回金曜日発行